

宇陀川の支流のひとつに荷阪川があります。宇陀川との合流地点から荷阪川を約2km遡ると、荷阪の集落があります。江戸時代の文書には、箕坂村と記されています。時は少々遡りますが平安時代の書物・『延喜式』には、味坂比売命神社のことが記述されています。「ミノサカ・ミサカ」が訛って「ニサカ」となったでしょう。

荷阪川は、緑の木々に囲まれた谷間にあり、緑の苔に覆われた大小の岩の間をぬってきれいな水が流れ、宇陀川（室生ダム）へと合流します。自然豊かなこの川には、大岩の隙間や岩盤を穿って流れ落ちるいくつかの滝があります。

そのひとつに「仏の小屋滝」とよばれている滝があります。岩盤を滑り落ちるかのようなこの滝の落差は、8 m程度でしょうか。美しい瀑布と滝直下には、深い滝壺をみることができます。水の流れ落ちる音は、さらに私たちに涼を与えてくれます。

荷阪川をあわせた宇陀川の水は、宇陀の山中を北東へと流れ、名張川、木津川、淀川へと名を変え、遠く大阪湾へと灌^{そそ}いでいきます。私たちの住む宇陀の水は、奈良盆地の水系（大和川水系）ではなく、淀川・木津川の水系となっています。



▲谷間を流れる荷阪川 ▶仏の小屋滝



今日の
Pick Up

ゆっくりはしろろ
キッズゾーン



▶横断歩道は手を上げて渡ろうね



しらゆり保育園（榛原榛見が丘）付近道路に市内初となるキッズゾーンが設置されました。キッズゾーンは、保育施設周辺において園児などに対する「注意をすべき」という意識の高揚、安全対策の一層の推進やドライバーに対する注意喚起などの目的で設置されます。市、警察や自治会が連携し、キッズゾーン設置に携わり、8月5日、セレモニーが行われ、園児たちが、榛見が丘地内で啓発活動を行いました。

ゾーン内は園児が園外活動等で移動することがありますので、ドライバーの方は、改めて安全な速度で注意して通行をお願いします！